

平成22年10月14日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅの炉内中継装置落下に係る状況について
(お知らせ)

高速増殖原型炉もんじゅは、燃料交換作業の後片付け作業中に発生した炉内中継装置の落下について原因調査等を進めております。

原子炉容器から炉内中継装置の引抜きについて、ノイズによる「荷重超過」の誤警報により10月4日から作業を中断していましたが、ノイズの抑制対策を終了し、10月13日、10時05分、原子炉容器から炉内中継装置の引抜き作業を実施しました。

この引抜き作業においては、原子炉機器輸送ケーシングのグリッパの手動あるいは低速の電動により慎重に作業を進めていましたが、13時01分、「荷重超過」の警報（グリッパ荷重の指示値の増加）が発報しました。

その後、予め定めた手順によって作業を継続しましたが、引抜くことが出来ないことから、19時20分、引抜き作業を中断いたしました。

【10月13日お知らせ済み】

現在、どのような状況が想定されるかなどについて検討しており、その後、評価・対策を行い、改めて炉内中継装置本体の引抜き作業に着手することといたします。

以上